

令和6年度 第1回笛吹市子ども・子育て会議 会議録

日 時 令和6年7月1日（月） 午後2時から午後3時45分
場 所 笛吹市役所 本館301会議室
出席者 早川公仁委員長、上田啓子副委員長、根津美玲委員、古屋幸子委員、
佐川成義委員、藤盛ちか子委員、角田恵委員、壽まや委員、
弦間優紀子委員、杉山順哉委員、橘田昌樹委員、長谷部信浩委員、
河野道子委員、前澤美代子委員

※笛吹市子ども・子育て会議設置条例7条第2項の規定により会議成立

事務局 田中暁子子供すこやか部長
飯室弘行子育て支援課長、山口茂樹保育課長
保健福祉部障害福祉課 橋本さおり
子供すこやか部子育て支援課 堀内麻紀子、本庄由美子、霜村正浩、
風間雄太、長谷部彩
子供すこやか部保育課 清水栄治、田中貴幸
(株)ジャパンインターナショナル総合研究所大塚（受託者）

次 第

（進行：子育て支援課長）

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員及び事務局職員自己紹介
- 5 子ども・子育て会議の役割について
（説明：事務局） 資料2、3により説明
【質疑・応答】
特に意見なし
- 6 委員長・副委員長の選出
- 7 議事

- (1) 笛吹市子ども・子育て支援事業計画における令和5年度地域子ども・子育て支援事業の達成状況について

(説明：各担当) 資料4により保育総務担当、子育て総務担当、子供家庭支援担当、母子保健担当が各担当事業を一括で説明

【質疑・応答】

(議長：早川委員長)

ただいま説明がありました件について何か質問、ご意見がありましたらよろしくをお願いします。

質疑なし

- (2) 第3期笛吹市子供子育て支援事業計画の策定に関わるニーズ調査の報告について

(説明：担当) 資料5に沿って説明

【質疑・応答】

(早川委員長)

ただいま説明がありました件について何か質問、ご意見がありましたらよろしくをお願いします。

(角田恵委員)

ニーズ調査の概要報告書の記載については、例えば3～4ページにかけて表の見せ方が意図的に操作して結果を誘導しているような作りになっている。正しく読み取れない恐れがあると思われる。また、10ページのふえふき子育て支援広場のアプリについては、認知度は高くないが、利用割合は高くなっているという表現は、そもそもこのアプリを使ったことがある人しか知らないと思うが、どのような回答を拾って課題や方向性にしているのか、表記する内容が少し違うのではないのか。このような表記は見直しをして適切な表現に直していただきたいと思う。

(説明：担当)

ご指摘いただいた帳票の部分については、誤解を招く恐れがある部分は、修正をしていくようにします。また、分析結果については、あくまでも一つの調査結果を反映した表記となりますので、ご理解いただきたいと思います。

(早川委員長)

他にご意見ご質問等ありますか。

また、既に事前に資料を配布されてアンケートを読んでいると思いますが、まだこれから読む中で、何かありましたら担当に電話連絡していただければと思いますのでよろしくお願いします。

(3) 笛吹市こども計画について

(説明：担当) 資料6に沿って説明

【質疑・応答】

(早川委員長)

ただいま説明がありました件について何か質問、ご意見がありましたらよろしくお願いします。

(上田副委員長)

子ども・若者の調査で、19歳から39歳の方を若者というように読むが、笛吹市が若者と決めているのではなく、全国的に39歳の方も若者と呼んでいるということだが、39歳の方が若者って言われてこういう調査をもらって嬉しいのか。先ほどの子ども子育て支援事業計画の方のアンケートの回収率が就学前41%、小学校児童保護者71.2%、児童扶養手当受給者35%というのが低いなと思っていたのだが、全国的な調査でもやっぱりこのくらいの数字で、先ほども二千人ぐらい出して半分返信あればみたいなことだが、そういうものなのか。

(説明：担当)

おそらくアンケート調査結果に大きな差はないかと思われます。

今回の中高生調査は、学校を通じてお願いをしており、更に、調査はQRコードを使いまして直接回答していただくという形をとりますので回答率は上がると考えられます。

また、同じくですが若者アンケートは、紙ベースの調査票を配布して行うものですが、同じくQRコードを使いウェブとの併用型という形をとりますので、回答率自体や回答数自体は、上がると考えております。

(上田副委員長)

例えば中高生の調査の中で特に中学生だったりすると、不登校の方たちにもこの調査票が渡るのですか。

(説明：担当)

中学校を通じ、在籍しているすべての生徒にお願いをするという形になるので、対象者に加わると思われます。

(上田副委員長)

おそらくそういう方々こそ答えてもらえたいアンケートだとは思っているのだが、答えるのも難しいことが考えられる。答えられるような心理状況にあるのかどうかという状況も考えられる。難しいこととは十分承知し、事務局も調査に苦労しているのかと思うが、そんな方たちの意見もぜひ救えるような工夫をしていければいいと思う。今の意見を是非とも組んでいただきながらこのアンケートを取る中で有意義な調査結果になるよう、調査したことが結果に反映できるよう対応をお願いしたいと望んでおります。

(早川委員長)

他あるでしょうか。

(角田恵委員)

非常に困っている方というのは、この量のアンケートにお答えする力がない方もいると思います。なので、正しくアンケート結果を収集するには、誰かサポートする必要があると思う。サポートの一つとしてアンケート調査票を手渡

しして、回答してもらう場所の提供も必要だと思う。中高生アンケートは、紙面にて回答することはコストもかかると思う。中学生は1人1台端末を持っているので活用し、提出無記名であれば提出したかどうかだけわかるようにすれば、いくらでもアンケート調査できると思うので、併用するというような形をとれば、多くの方の情報が得られ、より良いアンケートが収集でき、結果が得られるのかなと思うのですが、いかがでしょうか。

(説明：担当)

説明が不足しており、申し訳ございません。中学生のアンケート調査は、1人1台端末の方からアンケート結果を収集する予定です。

(早川委員長)

その他ございますか。

ないようなので、本日の議事については、以上で終了をさせていただきます。皆様方の協力によってスムーズに進行できたことを感謝申し上げまして、議長の座を降ろさせていただきます、ありがとうございました。

8 その他

(説明：担当)

ふえふき子育て支援フェア2024についての説明。

9 閉会